

## 令和4年度「横浜市新たな中期計画の基本的方向に関するアンケート」 集計結果の活用状況

アンケートテーマの担当部署が、アンケート結果をどのように受け止めたのか、  
事業にどのように活用しているのかなど、集計結果の活用状況をご紹介します。

### 1 アンケート結果の事業等への活用状況

Q12において、10年程度の取組の方向性を「9つの戦略」としてお示したところ、42.1% (523人)の方が、戦略1である「ア すべての子どもたちの未来を創るまちづくり」を、特に注力していくべき戦略、と回答いただきました。

このご意見を反映させるため、「素案」では、全ての政策分野の基軸に据えて推進する上位方針として、「子育てしたいまち 次世代を共に育むまち ヨコハマ」という「基本戦略」を掲げることとしました。

### 2 アンケートを実施した感想

Q9の「横浜市には様々な資源や価値がありますが、その中であなたが特に重要だと考えるものは何ですか。」において、「ア 計画的な都市形成による美しく住みやすい街並み」や「ク 東京都心部や羽田空港からの良好なアクセス性」との回答が多い一方で、「サ 緑の計画的保全」との回答も多くありました。都市としての利便性と自然（緑）を大切にしたいというご意見が多く、まちとしてのバランスを大切に考えている方が多くいらっしゃると感じました。

また、Q12の「めざす未来の具体像」においては、「イ 誰もが健やかで安心して暮らせるまち」との回答が多く、コロナ禍における不安が影響しているのではないかと捉えました。

### 3 担当部署のeアンケートメンバーへのメッセージ

このたびは、アンケートにご協力いただきありがとうございました。

「横浜市新たな中期計画の基本的方向」をはじめ、横浜市の魅力や資産や価値について、率直なご意見をいただき、「横浜市中期計画 2022～2025」（素案）に向けて大変参考になりました。

担当：政策局政策課

ヨコハマ e アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。